

CUIC のパフォーマンス問題のログの収集

目次

[はじめに](#)

[CUIC のパフォーマンス問題のログの収集](#)

[全般的な注意事項](#)

[ログの典型的なセット](#)

[問題を定義して下さい](#)

[Example 1.:エラーかタイムアウト](#)

[Example 2.:大きい遅延](#)

[顧客が提供するリソース](#)

[再生の準備](#)

- [1. クライアントインターフェイス住所氏名](#)
- [2. クライアント HTTP パケット キャプチャ](#)
- [3. クライアント ブラウザ F12 ログ](#)
- [4. サーバ RTMT ログ](#)
- [5. サーバ HTTP パケット キャプチャ](#)
- [6. セッション記録](#)

[問題の再現](#)

[再生の後のログの収集](#)

- [1. クライアント HTTP パケット キャプチャを集めて下さい](#)
- [2. クライアント ブラウザ F12 ログを集めて下さい](#)
- [3. サーバ RTMT ログを集めて下さい](#)
- [4. セッション記録をキャプチャして下さい](#)

[変更を戻して下さい](#)

概要

この資料はレポート パフォーマンスの問題をトラブルシューティングするとき Cisco Unified Intelligence Center (CUIC) ログを設定し、集めることのプロセスを説明したものです。CUIC パフォーマンスの問題を解決することは含まれた多くのテクノロジー、製品およびコンポーネントによる挑戦である可能性があります。またパフォーマンスの問題はさまざまな方法で彼ら自身を明示します、従ってトラブルシューティングの間にクリア ピクチャを持っていることは重要です。

この資料のインテントがトラブルシューティング プロセスをすばらしい詳細で説明すること、Cisco TAC か Cisco エンジニアリングによって必要なログを集めるとき要点を強調表示するでなく。

CUIC のパフォーマンス問題のログの収集

一般的なガイドライン

すべてを集めることは 1 つを奪取 します挑戦的、時間のかかりますログオンします。全手順は

1 から 4 時間がかからかかる必要があります。それはどれだけうまくによって顧客かパートナーが環境を準備するか決まります。

注: 顧客がいくつかの Change 要求を入れる必要がある場合もあるがこのアクティビティに必要なダウンタイムがありません。

それは強く推奨されています広範囲の開発者ツール (F12) による Firefox ブラウザを使用してテストをとりわけするために。

CUIC クライアント および サーバが通信のために使用していること IP アドレスを知る必要があります。

これらの IP アドレスはこの技術情報で CUIC クライアントおよびサーバのために使用されます。

クライアントIPアドレス: 10.111.16.157

[Server IP address] : 10.222.6.29

ヒント : UCCE LAN 環境にあるクライアントを使用して問題を再現 するために CUIC に関してはそれを解決するパフォーマンスは強く推奨されています。これは CUIC クライアントとサーバの間でネットワーク接続の影響を除去します。

複数のログ 収集試みがあるかもしれませんがこうして集められるファイルのクリア指名を維持することは重要な。 `tac<date>_<time>` (例えば `tac27feb17_1334`) または `tac_<date>_<attempt>` (例えば `tac27feb17_take3`) のような名前クライアントのデスクトップのフォルダを作成して下さい。ログを集めた後、すべてをこのフォルダに入れ、それをアーカイブし、ケースに接続して下さい。

CPU の観点からの推奨を、メモリ、ioWait 統計行い、まだパフォーマンスの問題があるクラスタのノードを見つけることを試みて下さい。直接負荷つりあい機を避けるこのノードのテストをして下さい (もしあれば) 。

ログの典型的なセット

1. クライアント ブラウザ F12 ログ
2. クライアント HTTP パケット キャプチャ
3. サーバ HTTP パケット キャプチャ
4. CUIC サーバ 知性センター レポート サービスCisco Informix Database ServiceCisco RIS Data Collector PerfMonLogCisco TomcatEvent Viewer-Application LogEvent Viewer-System Logパケット キャプチャ ログ

問題を定義して下さい

Example 1.:エラーかタイムアウト

クラスタ表記のすべてのノードのピーク時 CUIC レポート ユーザの間リアルタイムレポートのための複数のエラー。

E1: 伝送速度 2.048 Mbps の欧州標準デジタル ファシリティ。「検索しますデータセット情報 java.lang.IllegalStateException」を

E2: 「最後のリフレッシュ時限 out (getDataSetMaxReached) はリロードするために、『 Refresh』をクリックします」。

E3: 「最後のリフレッシュ時限 out (reportRefreshRetry)。次の自動を待って下さい-リフレッシュするか、またはクリックして下さい「更新」。を

問題は午前中 2 月 27 日に後週末に設定されたネットワーク、セキュリティおよびデータセンタのこれらの仕様変更開始しました。 CUIC クラスタのためのこれらのサイズ変更ガイドラインを確認しました。

[Cisco Unified Intelligence Center ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン \(SRND \)、リリース 11.0\(1\)](#)

Example 2.:大きい遅延

リアルタイムレポートを表示するとき絶えず最初の Subscriber ノードのだけユーザを報告する CUIC に 30-40 秒の遅延が生じています。

SAN ネットワーク デバイスのファームウェアをアップグレードした後で 2 月 26 日に開始する問題。 CUIC クラスタのためのこれらのサイズ変更ガイドラインを確認しました。

[Cisco Unified Intelligence Center ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン \(SRND \)、リリース 11.0\(1\)](#)

顧客が提供するリソース

顧客かパートナーが必要があるアプリケーション/ツールの要約はここにあります CUIC パフォーマンスの問題のためにログを集めるとき使用する。

- クライアント : Windows コマンド プロンプト (CMD)
- クライアント : Wireshark
- クライアント : Firefox ブラウザ
- クライアント : 実時間監視ツール (RTMT) またはセキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) サーバ
- CUIC サーバ コマンド・ライン (CLI)

注: 場合によっては RTMT を使用して CUIC ログを集めることを複雑にするかもしれません。従って CUIC CLI から SFTP サーバにログをダウンロードする必要があります。

再生の準備

1. クライアントインターフェイス住所氏名

すべての CUIC クライアント IP アドレスを集めるのに CMD を使用して下さい。

CUIC サーバと通信するのに使用するネットワーク インターフェースをおよび IP アドレスを調べて下さい。パケット キャプチャをサーバ側から集めた場合それを使用する必要があります。

```
C:\Users\Administrator>route print -4 | findstr 222
    10.222.6.0      255.255.254.0      On-link      10.111.16.157      1
```

このコマンドの Wireshark で選択されるより遅い必要正しいインターフェイス名を判別して下さい。インターフェイス名および IP アドレスは斜体にあります。

```
c:\tmp>ipconfig
Windows IP Configuration

Wireless LAN adapter wifi0:
    IPv4 Address. . . . . : 10.111.16.157

Ethernet adapter Local Area Connection 2:
    IPv4 Address. . . . . : 192.168.123.1
```

<output omitted for brevity>

2. クライアント HTTP パケット キャプチャ

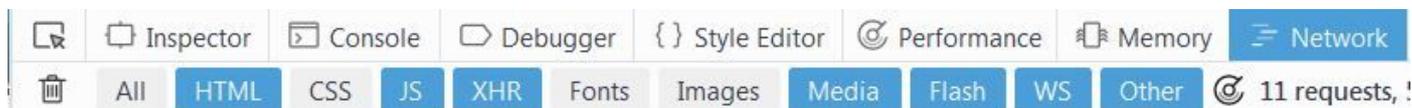
Wireshark アプリケーションをインストールし、うまく働きます。前の手順で判別される正しいインターフェイスを選択して下さいしかし今のところパケット キャプチャを停止して下さい。

ヒント： インターフェイスが Wireshark で検出されなければ Wireshark と組み込まれる一般的な解決策への一般的な解決策は Pcap ソフトウェアを再インストールすることです。

3. クライアント ブラウザ F12 ログ

3.1 Firefox ブラウザを開き、バージョンを確認して下さい。サポートされた 1 時でなければなりません。

F12 を押し、ネットワーク (ネットワーク モニタ、CTRL+Shift+Q) タブにナビゲートして下さい。『All』を選択して下さい (または HTML、JS、XHR、メディア、フラッシュする、WS、他)。



4. サーバ RTMT ログ

RTMT の CUIC へのログインはすべてのノードのこれらのサービスを選択し、

- 知性センター レポート サービス
- Cisco Informix Database Service
- Cisco RIS Data Collector PerfMonLog
- Cisco Tomcat
- Event Viewer-Application Log
- Event Viewer-System Log
- パケット キャプチャ ログ

絶対範囲か相対的な範囲を選択し、フォルダにこれらのログをわかりやすい名前をつけて下さい

。

5. サーバ HTTP パケット キャプチャ

そのトラブルシューティング プロセスを簡素化するためにクライアントからのサーバへトラッキング一つのクエリの単純な方法である必要が有って下さい。デフォルトで HTTPS によって暗号化される転送するは使用されますそのような詳細を明らかにしない。そういうわけで HTTP は問題再生の時の間一時的に有効にする必要があります。

HTTP 通信 タイプを有効にするため CUIC CLI のこのコマンド。それはテスト用に使用するノードで有効にする必要があります。

```
admin:set cuic properties http-enabled on
Value has been successfully set
```

```
admin:show cuic properties http-enabled
http_enabled
=====
on
```

注: Cisco Tomcat Service を再開する必要はありません。唯一の影響は CUIC クライアントおよびサーバ間の非暗号化通信です。

CUIC クライアントの Wireshark のパケット キャプチャを開始して下さい。

CUIC Server ノードのこのコマンドでパケット キャプチャを開始して下さい。クライアントの正しい IP アドレスが規定されるようにして下さい。

```
admin:utils network capture file packetcapture count 100000 size all host ip 10.111.16.157
Executing command with options:
size=ALL count=100000 interface=eth0
src=dest= port=
ip=10.111.16.157
```

6. セッション記録

それは特にレポート ディスプレイ タイムアウトおよび遅延を取扱っているとき強く推奨されていますログと共に CUIC ユーザ エクスペリエンスを示す再生の画面ビデオ記録を含むために。

ソフトウェアを記録するどの画面でも使用することができます。Cisco WebEx 記録機能はまたそのような functionality を提供します。

問題の再現

実行されるステップの最少量における問題を再現することを試みて下さい。再生の間に unnecessary タスクをすることを避けることを試みて下さい。これは Cisco TAC によってされたログ分析を非常に高速化します。

非常に簡単なテストの例は -> Security -> ユーザー一覧 CUIC 主要な管理 ページへログインすることです (またはユーザーグループ、またはユーザー許可)。

顧客がレポートかダッシュボードの実行によって問題を再現することを試みることができる複数の試み後上記のテストが遅延を示さなければ。そのケースでレポートかダッシュボード名前を書くことは非常に重要です。

再生の間に『Windows』をクリックし、クロックを右の下部で開きます**変更日時設定を...**テストして下さい。秒に時間を precicely 監察することを必要とします。

奪取されるすべての操作を記録して下さい。操作間の時間のいくつかのギャップを持っていることは有用です。この例を使用できます。

14:16:30 - Firefox ブラウザの入力された CUIC アドレス

14:17:42 -資格情報を入力した後『Enter』を押されて

14:20:20 -システムは Main.htmx Webページをロードしました

14:21:02 - 『User』 をクリックされた リストおよび CUIC はそれをロードし始めました

14:28:15 -**ユーザー一覧**は正常にロードされました (7m 10s の遅延と)

、テキストエディタをコピーして下さい上でテンプレートを開いて下さい。それから、理想的に、ちょうどもし必要なら時間またはステップ説明を取り替えて下さい。

再生の後のログの収集

1. クライアント HTTP パケット キャプチャを集めて下さい

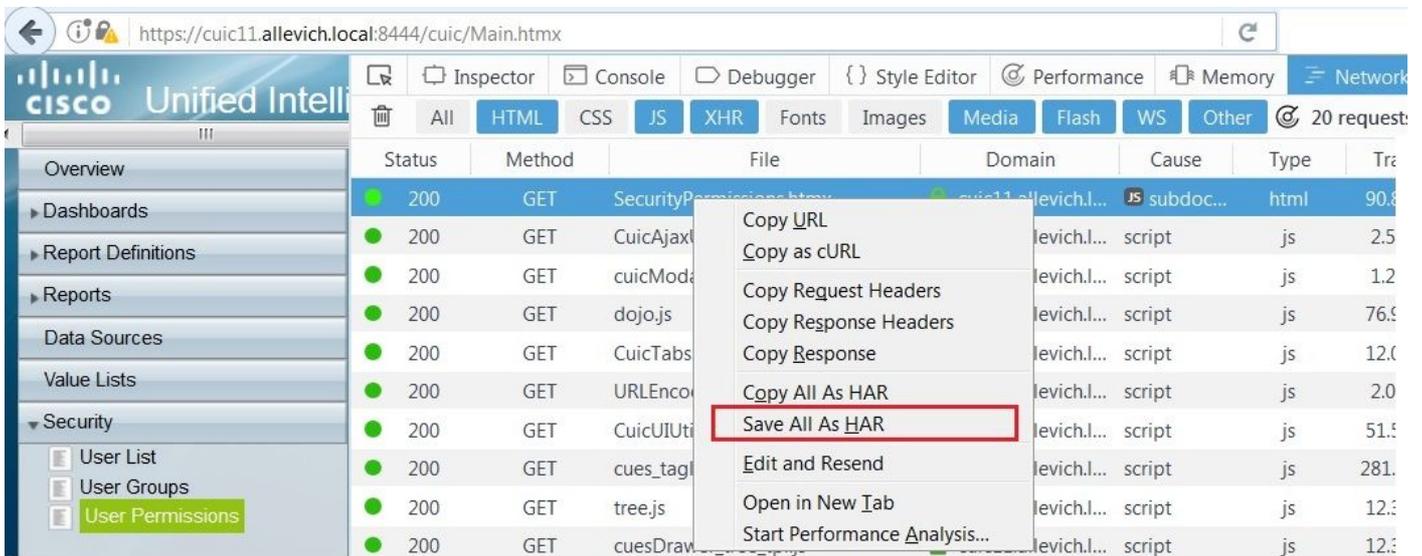
クライアント (Wireshark) のパケット キャプチャを停止して下さい。

CTRL+Cを押すことによって CUIC ノードのパケット キャプチャを停止して下さい。

Wireshark でクライアント パケット キャプチャを保存し、TAC フォルダにそれを移動して下さい。

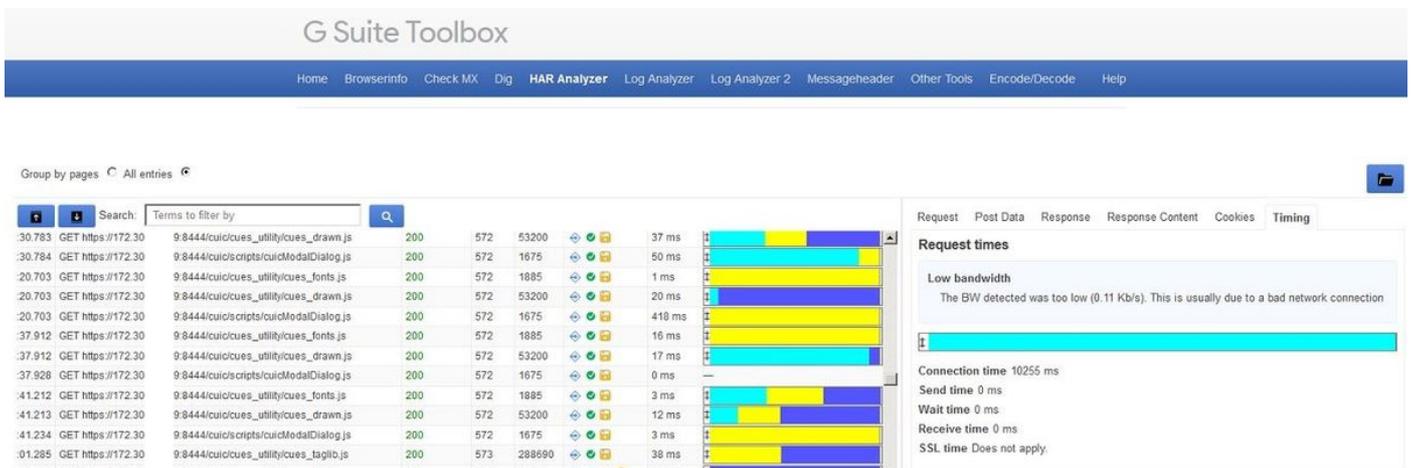
2. クライアント ブラウザ F12 ログを集めて下さい

あらゆる要求を右クリックし、**HAR としてすべてを**『SAVE』を押して下さい。それから TAC フォルダーの場所を選択し、『SAVE』をクリックして下さい。



ファイルのこの型は [G スイート HAR アナライザ](#) ツールによって分析することができます。

この例はレポート遅延の原因が CUIC クライアント および サーバ間の低いネットワーク帯域幅であることを示したものです。



3. サーバ RTMT ログを集めて下さい

CUIC サーバ パケット キャプチャが既に停止しているようにして下さい。そして CLI セッションの CTRL+C を押すため。

前に前に設定されたナビゲートし、『Finish』 を押して下さい CUIC RTMT に。

注: RTMT を使用している場合、すべての信頼できない証明書プロンプトを受け入れられます確認して下さい。

RTMT ログ 収集 プロセスが遅い場合、SFTP サーバにログ ファイルをダウンロードするオプションがあります。

SFTP サーバに必要なログを集めるこれらのコマンドを使用して下さい。

```
file get active log /cuic/logs/cuic/* reltime hours 1
```

```
file get active log /cuic/logs/cuicsrvr/* reltime hours 1
```

```
file get activelog /cm/log/informix/* retime hours 1
file get activelog /cm/log/ris/csv/PerfMon* retime hours 1
file get activelog /syslog/CiscoSyslog* retime days 1
file get activelog /syslog/AlternateSyslog* retime days 1
file get activelog /syslog/messages* retime days 1
file get activelog /cuic/logs/cuic/* retime hours 1
file get activelog /cuic/logs/cuic/* retime hours 1
file get activelog /tomcat/logs/localhost_access*.txt retime hours 1
file get activelog /platform/cli/*.cap retime hours 1
```

ログと共に Test ノードから奪取されるこれらの CUIC CLI 出力を提供して下さい。

```
show status
show tech network hosts
utils ntp status
utils service list
utils dbreplication runtimestate
file list activelog /core/
file dump install system-history.log
show process using-most cpu
show process using-most memory
run sql SELECT COUNT(*) FROM cuic_data:cuicuser
show perf query counter ReportingEngineInfo ReportsUsersLoggedIn
```

4. セッション記録をキャプチャして下さい

記録する TAC フォルダに画面を停止し、追加して下さい。

変更を戻して下さい

CUIC ノードの HTTP 通信を無効にして下さい。

```
admin:set cuic properties http-enabled off
Value has been successfully set
```

```
admin:show cuic properties http-enabled
http_enabled
=====
off
```